

地質ニュース

平成元年11月号

第423号

1989

| | | |
|--------------------|----------------------|-------|
| 日本—インドネシア資源調査共同研究 | 古宇田 亮 一 津 宏 治 | 6 |
| 火山性陥没と金銀鉱床の探査—発見 | 古宇田 亮 一 ス イ ヤ ン ト | 13 |
| 金銀鉱床有望地域発見への現地調査 | 宮 崎 芳 徳 | 27 |
| 南海の小スンダ列島に地質と金銀を探る | 村 岡 洋 文 | 35 |
| 浅熱水性金銀鉱化作用ワークショップ | 松 久 幸 敬 青 木 正 博 | 44 |
| IGC事務局ニュース | IGC事務局 | 63 |
| 国際室だより | 国際室 | 66 |
| 最近中国で発見された新鉱床 | 岸 本 文 男 | 43・62 |
| 地学と切手 | P. Q. | 26 |
| 学会掲示板 | | 67 |

口 絵 パソコンによる SPOT 衛星画像 古宇田 亮一

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

表紙の立体視は地質情報の判読にきわめて有用であった。対象地域は赤道に近い低緯度地域であるから陰影効果が弱く、単一の画像のみでは平滑感の強い画像にならざるを得ない。立体視の機能は、このように従来から赤道地域の画像につきまっていた欠点を、根本的に克服するという点からも注目される。これによって地質単元を多数区分でき、地質図に肉薄するマップを作成することができた。

12月号予定目次

IGC 歴史と第29回 (1992) 日本開催
第29回 IGC (1992) 日本開催の準備状況
第26回 IGC —パナマ—
第27回 IGC —モスクワ—
第28回 IGC —ワシントン—
北海道支所合同庁舎へ—経過と現状—